

学校経営計画

1 本校の教育目標

「よく考え やさしく 元気な四岩の子」(合言葉)

- よく考える子：自ら調べて自分の考えをもち、すすんで友達と話し合いながら課題を解決する子
- やさしい子：相手の立場や意見を尊重するとともに、友達を思いやり大切にする子
- 元気な子：すすんで登校し、よく学び、よく働き、よく遊ぶ、心も体もすこやかな子

2 教育目標を達成するための基本方針

「児童一人一人にとって魅力ある学校」

「通ってよし(児童) 通わせてよし(保護者・地域) 勤めてよし(教職員)」

- 安心・安全で児童が明るく楽しく過ごせ、学ぶ喜びを感じられる学校
- 児童が学校生活に満足するとともに、保護者や地域と連携し協力関係を築く学校
- 健全な組織の中で教職員の個性や能力が発揮され、やりがいと誇りのもてる学校

3 今年度の主な取り組み

(1) 確かな学力の育成

- 児童の学びに向かう力、人間性等を育成する。
 - ・課題設定、資料提示、学習形態の工夫、ICT 機器・一人一台端末等の活用により、児童の関心・意欲を高める授業を実施する。
- 児童の知識・技能、思考力・判断力・表現力等を育成する。
 - ・的確な発問、説明、板書により、分かりやすい授業を実施する。
- 基礎学力の定着を図る。
 - ・加配を生かした算数の習熟度別指導を行う。
 - ・学力パワーアップ講師等の人員を活用し、授業内での個別支援を充実させる。
 - ・朝学習を通して読書習慣や基礎学力の定着を図る。
 - ・学力フォローアップ教室の実施により、基礎学力の補充・定着を図る。
- 校内研究・OJT等を通して、授業改善・指導力向上に取り組む。
 - ・児童実態等に沿った校内研究・OJT等を充実させ、授業改善・指導力向上に取り組む。教員の外部アドバイザーの訪問指導を推進する。

(2) 豊かな心や社会性の育成

○児童の豊かな人間関係をつくる（いじめ防止の取組）。

- ・児童一人一人の自立に向けての指導を進め、学級経営・専科経営の充実を図り、居心地のよい学級・学校をつくる。
- ・WEBQU の結果等を学級経営・専科経営の充実に活用する。「ふれあい月間」等で児童アンケートを実施し、学校いじめ防止対策委員会等で考察し、担任・専科等にフィードバックすることで組織での情報共有および対応を行う。

○児童の心の悩みに寄り添い、解消に向けて働きかける。

- ・全体指導と個別支援を組織的にバランスよく行う。相談した児童の担任とカウンセラーが連携し、児童への配慮や支援を行う。

○児童に他を思いやる心を育成する

- ・「心をつなぐ言葉」を意識付け、言語環境から児童の互いを大事にする支持的風土をつくっていく。
- ・児童の主体性を引き出す「あいさつ運動」の取組を充実させる。
- ・縦割り班活動、登校班等、異学年交流の推進を通して、下級生を思いやり、上級生を敬う心を養う。

(3) 健やかな体の育成

○体育的活動・行事の充実を図る。

- ・運動会や持久走記録会、スポーツタイム、体育朝会、なわ跳び週間、長なわトライ、名人集会等、体育的行事や体育的活動を計画的に実施し体力の向上を図る。
- ・体力テストを実施し、その結果から本校の課題を明確にして体育科学習の改善を図る。
- ・栄養バランスのよい給食を提供することで児童の健康の保持増進を図るとともに、望ましい食習慣と食に関する実践力を身に付けさせる。

(4) 校務改善（働き方改革）

○組織的・効率的な学校運営を推進する。

- ・主任教諭層の組織分掌への意識を高め、主体的な運営ができるようにする。管理職・主幹教諭層による校務分掌等の進行管理を円滑に行う。
- ・一人一台端末等を活用し、学習準備等の効率化を図る。
- ・計画的・効率的な職務遂行を図り、時間外勤務の縮減を進める。
- ・長期休業日の中で学校閉庁日を設定し年次休暇が取得しやすい環境を整備する。月1回ノー残業デーを設定する。